

■ 氏名 (フリガナ) 井狩 芳子 (いかり ほうこ)	職位 和泉短期大学 児童福祉学科 教授
■ 担当科目 ・保育内容「健康」 ・乳幼児体育 ・体育理論・体育実技 ・保育実習	
■ 専門分野及び関連分野 ・健康学 ・保育 ・健康教育学 ・教育生理学	
■ 最終学歴 ・日本体育大学大学院体育研究科体育学専攻修士課程 健康学コース 修了	
■ 最終学位 ・修士(体育学)	
■ 職歴 ・青山学院女子短期大学体育研究室 副手を経て、助手 ・和泉短期大学児童福祉科 専任講師・助教授・准教授を経て、教授 ・浦和大学 非常勤講師 ・東洋英和女学院大学 非常勤講師	
■ 所属学会 ・日本小児保健学会 ・日本学校保健学会 ・日本保育学会 ・日本発育発達学会 ・日本臨床神経生理学学会 ・日本体育学会 ・日本子ども家庭福祉学会	
■ 学生指導 ・担当グループ学生の指導(実習・学生生活・就職支援)	
■ 研究テーマ (長期) ・世界の人々の健康課題と、日本人の健康課題 ・日本人の生活リズムと子どもの生活リズムの獲得過程 ・子どもの身体の発育・発達と保育 (短期) ・子どもの健康課題と親の健康課題 ・今を生きる子どもに対する運動あそびの援助	
■ 社会的活動 1. 1985/04～ 子どものからだと心連絡会議 全国委員・運営委員 *～1996:事務局長 2. 1990/1/25～1990/7/ 東京都中野区小学校教育研究会講師 3. 1994/08～1996/08 神奈川県相模原市図書館協議会委員 4. 1994/09～10/ 神奈川県相模原市教育委員会主催市民大学講師 テーマ:『食・寝・遊』を科学する 5. 1995/05～07/ 東京都港区教育委員会子育て講座講師 テーマ:「子どもと遊び」 6. 2000～2005 首都圏西部地域大学間単位互換による共同授業 総合講座「こころとからだの科学」講師 7. 2001/09～10/ 神奈川県相模原市教育委員会主催市民大学講師 テーマ:子どもの健康・おとなの健康 8. 2002/03～ 東京都八王子市ファミリーサポート研修会講師 9. 2006/06～ 神奈川県相模原市男女共同参画課審議会諮問委員 10. 2008/06～2010/05 神奈川県座間市保育研究会研究アドバイザー 11. 2008/06～ 神奈川県相模原市男女共同参画課審議会会長 12. 2010/04～ 相模原市立男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ) サポート委員 13. 2010/04～ NPO法人 セルフケア総合研究所 理事	

- | | |
|-----------------|-----------------------------------|
| 14. 2010/05～ | 幼少年体育指導士（日本発育発達学会認定資格）認定講座実行委員会委員 |
| 15. 2012/02/01～ | 社会福祉法人 歩育の会 理事 |

■ 研究業績（著書・論文等）

【著書】

1. 「子どものからだは舐まれている」担当：IX. 睡眠と運動、185～194、（共同）、柏樹社、1990/7/
2. 「保育内容『健康』～しなやかな心身を求めて～」担当：6章123～135, 140～149・8章185～210, 9章213～232、（共同）、圭文社、2001/9/
3. 「幼児の心身を育てる遊び～めざせ！ガキ大将～」担当：5章107～122、（共同）、圭文社、2002/1/
4. 「新・保育士養成講座5巻『小児保健』」担当：第6セッション293～118、（共同）、全国社会福祉協議会、2002/4/
5. 「—医師、看護職のための— 乳幼児保健活動マニュアル 担当：5章健康管理の実践[5]健康づくり 1、健康・体力増新策、334～339」、（共同）、文光堂、2007/7/
6. 「学校での実践！子どものからだ・心づくり（子どもの力の育成 全3巻）」担当：1章「気になるところの探し方『保育園・幼稚園編』」：46～49、（共同）、教育開発研究所、2007/9/
7. 「子どもの元気を育む保育内容研究」担当：第1章 乳幼児の健康、8～21、不昧堂出版、（共同）、2009/10/
8. 「幼児の楽しい運動遊びと身体表現」担当：第7章「おとなと楽しむ運動あそび」、圭文社、2010/4/

【論文】

1. 卒業論文「子供の体力について ～幼児の生活における安全性を志向して～」、1980/1/
2. 修士論文「歩行量と睡眠の質についての思考」、1983/1/
3. 「和泉短期大学における体力診断テストの結果に関する一考察」（単独）、1987/3/
4. 「和泉短期大学における体力診断テストの結果に関する一考察（その2）」（単独）、1988/3/
5. 「和泉短期大学における体力診断テストの結果に関する一考察（その3）」（単独）、1991/3/
6. 「幼児の心身の健康に関する研究（第一報）」（共同）2003/3/
7. 「幼児の心身の健康に関する研究（第二報）」（共同）2004/3/
8. 「幼児の心身の健康に関する研究（第三報）」（共同）2005/3/
9. 「幼児の心身の健康に関する研究 -幼稚園児と保育園児のあそびの調査（1）-」（共同）2005/4/
10. 「幼児の心身の健康に関する研究（第四報）」（共同）2006/3/
11. 「幼児の心身の健康に関する研究 -幼稚園児と保育園児のあそびの調査-（2）」（共同）2006/4/
12. 「子育てサロン『はっぴい』の開設にあたって」（共同）2007/3/15
13. 「幼児期の生活と遊びに関する研究 -幼稚園児の降園後の遊びから『三間がない現象』について-」（共同）2007/4/
14. 「和泉短期大学における子育て支援事業の活動報告」（共同）2008/3/15
15. 「母親が感じる育児上の『困難』に関する研究（1）-幼稚園と保育園における調査から-」（共同）2008/4/
16. 「和泉短期大学における子育て支援事業の活動報告（2）」（共同）2009/3/15
17. 「母親が感じる育児上の『困難』に関する研究（2）-幼稚園と保育園における調査から-」（共同）2009/4/
18. 「母親が感じる育児上の『困難』に関する研究（3）-幼稚園と保育園における調査から-」（共同）2010/4/
19. 「母親が感じる育児上の『困難』に関する研究（4）-幼稚園と保育園における調査から-」（共同）2011/4/
20. 「母親が感じる育児上の『困難』に関する研究（5）-幼稚園と保育園における調査から-」（共同）2012/4/

【その他】

<辞典> 1. 「保育小辞典」担当用語：土踏まず・しなやかな心と体・運動発達、大月書店 2006/4/

<雑誌>

1. 歩行に関する一考察 ～万歩計を使用して～、乳幼児の教育/キュークリヒ記念財団、1984/10/
2. 睡眠の生理学について、ベルママン/学習研究社、1984/11/
3. 第6回子どものからだど心全国研究会に参加して、学校体育/日本体育社、1985/2/
4. 子どもの協応性と生活環境、乳幼児の教育/キュークリヒ記念財団、1986/10/
5. 睡眠リズムと子どもの健康、わが子は中学生/あゆみ出版、1988/5/
6. 3歳・4歳、ボクたち本当はこんなに歩ける、プチタンファン/婦人生活社、1990/10/
7. 寝不足の子どもたち ～成長に欠かせない大事な睡眠～、マミール/佼成出版会、1990/11/
8. 子どもの歩数 ～夏休み、バス停三つ歩いてみませんか～、月刊“芽”/誠文堂新光社、1990/8/
9. 夜型の生活で睡眠不足不足気味の子どもたち ～夏休みこそ体のリズムに合った生活を～、ミセス/文化出版社、1990/8/
10. 子どもと睡眠 ～生物リズムを知っていますか～、月刊“芽”/誠文堂新光社、1990/9/
11. 子どものからだど心のひずみにせまる、食べ物文化/芽生え社、1991/3/
12. 「子どもトピックス/家庭と保育所の連携で改める子どもの『夜更かし』と『睡眠不足』」、財団法人こども未来財団/研友出版、2004/12/

<調査協力・調査報告書> 1. 東京都大田区公害保健福祉事業『伊豆健康教室』実施に伴う、調査協力・報告書作成（共同）1984～1987

<啓蒙用冊子> 1. 「お父さんといっしょ」神奈川県相模原市市民局民活力推進部男女共同参画課発行 編集委員長（共同）、2009/3/

<学会等に係る職務>

1. 【予定】2012/05/05 日本保育学会 ポスター発表「保育者の資質能力・保育者の専門職性」セッションの座長

■ 研究業績（招待講演）

1. 1984/12/ 「第6回子どものからだど心・全国研究会議 『子どもの一日の歩行量と睡眠の質について』」
2. 2008/12/12 「第30回子どものからだど心・全国研究会議 第1日目[共通話題：子どものからだど心・連絡会議の成果と今後への期待] 話題提供:保育者養成校に勤務しながら、見えるもの・感じること」

■ 研究業績（学会発表）

1. 1985/10/ 児童健康教室における日中の運動量と睡眠（第15回日本脳波・筋電図学会学術大会（共同））
2. 1987/10/ 子供の1日の生活における運動量 ～万歩計を使用して～（第34回日本学校保健学会（単独））
3. 1988/10/ 児童・生徒のPedometerを使った活動量の違いについての考察（第35回日本学校保健学会（単独））
4. 1989/10/ 児童・生徒のPedometerを使った地域性の違いについて（第36回日本学校保健学会（単独））
5. 1991/10/ 学生のPedometerを使った活動量についての考察（第38回日本学校保健学会（単独））
6. 1993/10/ 青年層における立体視力の現状について（第40回日本学校保健学会（共同））
7. 1994/10/ 女子学生における足裏の形成とバランス感覚について（第41回日本学校保健学会（共同））
8. 1995/10/ 小学生における、土踏まずと拇指内向の変化について（第1報）（第42回日本学校保健学会（共同））
9. 1996/10/ 小学生における、土踏まずと拇指内向の変化について（第2報）（第43回日本学校保健学会（共同））
10. 1996/11/ 保育園児家庭における親と子の生活実態について（第1報）（第43回日本小児保健学会（共同））
11. 1996/11/ 保育園児家庭における親と子の生活実態について（第2報）（第43回日本小児保健学会（共同））
12. 1997/11/ 保育園児家庭における親と子の生活実態について（第3報）（第44回日本小児保健学会（共同））
13. 1997/11/ 保育園児家庭における親と子の生活実態について（第4報）（第44回日本小児保健学会（共同））
14. 1998/11/ 保育園児家庭における親と子の生活実態について（第5報）（第45回日本小児保健学会（共同））

15. 1998/11/ 保育園児家庭における親と子の生活実態について (第6報) (第45回日本小児保健学会(共同))
16. 2001/10/ 大学生における、1日の歩数からみた生活についての研究 (第48回日本学校保健学会(単独))
17. 2002/10/ 幼児の体と生活に関する研究 ～その1、体力調査の結果について～ (第53回日本体育学会(共同))
18. 2002/10/ 幼児の体と生活に関する研究 ～その2、歩数と土踏まず・内向角度について～ (第53回日本体育学会(共同))
19. 2003/5/ 幼児の心身の健康に関する研究 (第1報) (日本保育学会第56回大会(共同))
20. 2003/5/ 幼児の心身の健康に関する研究 (第1報) (日本保育学会第56回大会(共同))
21. 2004/5/ 幼児の心身の健康に関する研究 (第2報) (日本保育学会第57回大会(共同))
22. 2004/5/ 幼児の心身の健康に関する研究 (第2報) (日本保育学会第57回大会(共同))
23. 2005/5/ 幼児の心身の健康に関する研究 (第3報) (日本保育学会第58回大会(共同))
24. 2005/5/ 幼児の心身の健康に関する研究 (第3報) (日本保育学会第58回大会(共同))
25. 2006/5/ 幼児の心身の健康に関する研究 (第4報) (日本保育学会第59回大会(共同))
26. 2007/5/ 幼児の心身の健康に関する研究 (第5報) (日本保育学会第60回大会(共同))
27. 2007/9/ 幼児の就寝・起床時間と生活時間～保育園児と幼稚園児の特徴～ (第54回日本小児保健学会(共同))
28. 2008/6/7 和泉短期大学における子育て支援活動の報告 (日本子ども家庭福祉学会第9回全国大会(共同))
29. 2009/5/16 幼児の心身の健康に関する研究 (第6報) (日本保育学会第62回大会(共同))
30. 2009/5/16 幼児の心身の健康に関する研究 (第7報) (日本保育学会第62回大会(共同))
31. 2009/9/11 保育士養成系短期大学における学生の生活とその課題 (全国保育士養成協議会第48回研究大会(共同))
32. 2009/9/11 保育士養成系短期大学における学生の体力の現状とその課題 (全国保育士養成協議会第48回研究大会(共同))
33. 2009/10/ 母親が感じる育児上の「困難」に関する研究 ～幼稚園と保育園における調査から～ (第56回日本小児保健学会(共同))
34. 2010/5/ 幼児の心身の健康に関する研究 (第8報) (日本保育学会第63回大会(共同))
35. 2010/5/ 幼児の心身の健康に関する研究 (第9報) (日本保育学会第63回大会(共同))
36. 2010/9/ 母親が感じる育児上の「困難」に関する研究 ～幼稚園と保育園における調査から～ (第57回日本小児保健学会(共同))
37. 2011/5/21 幼児の心身の健康に関する研究 (第10報) (日本保育大会第64回(共同))
38. 2011/5/21 幼児の心身の健康に関する研究 (第11報) (日本保育学会第64回大会(共同))
39. 【予定】2012/5/ 幼児の心身の健康に関する研究 (第12報) (日本保育学会第65回大会(共同))
40. 【予定】2012/5/ 幼児の心身の健康に関する研究 (第13報) (日本保育学会第65回大会(共同))
41. 【予定】2012/9/ 母親が感じる育児上の「困難」に関する研究 (第59回日本小児保健学会(共同))